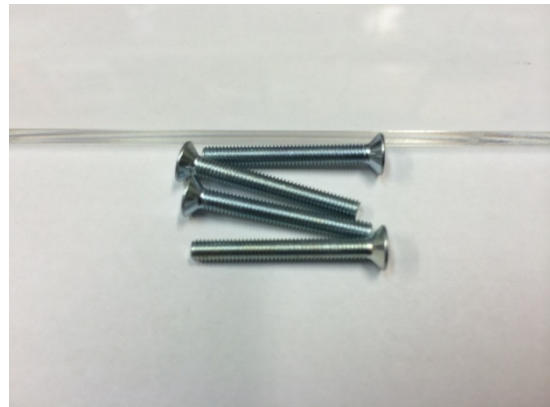


B キット組立てマニュアル

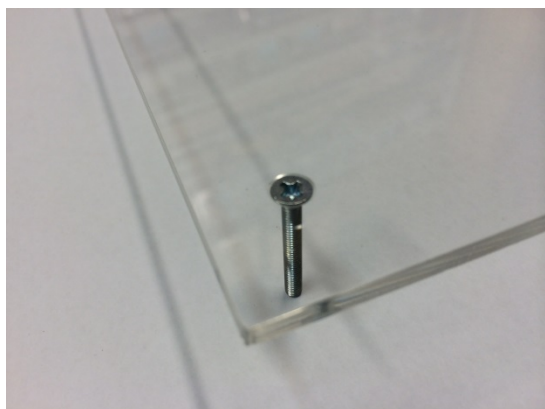
b-2-1 テーブル組立編

2.テーブルの組立 PLA モデル
モデルを造形するテーブルの組立です。

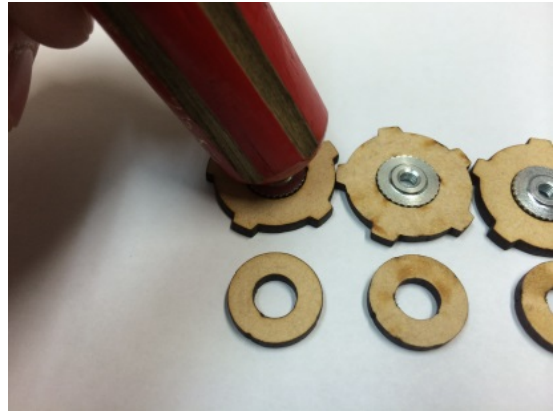
2.1 PLA キット テーブルの組立



穴が4箇所あるアクリルのテーブルとネジのセットを準備します。
まず使用するのは皿ネジ M3 全長 25 4本です。



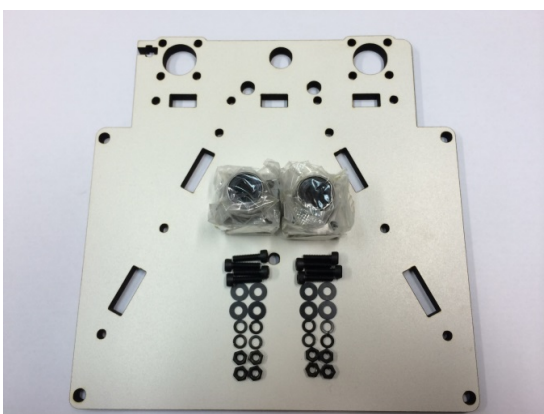
すり鉢状の穴の方から、皿ネジを入れて締め付けます。
(注意) 締めすぎに注意して下さい。アクリルに加工されたねじ山は4山程度で、強い力で締めすぎると、ねじ山が潰れてしまいます。また、アルミに亀裂が入る原因にもなります。



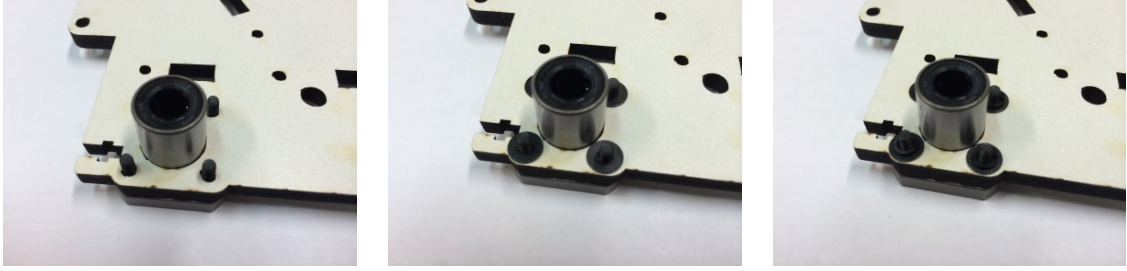
写真の部品を準備します。ローレットナットとカバー類
 ローレットナットをカバーに圧入します。
 ※手では圧入できないので、少し固い棒などで押して下さい。



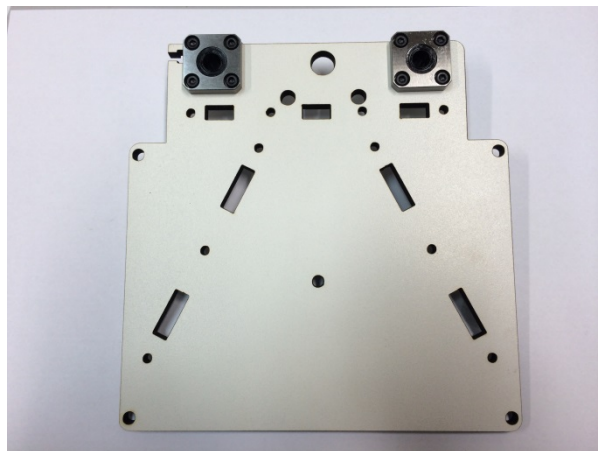
圧入後ボンドを付けて、小さなカバーを中心に接着します。



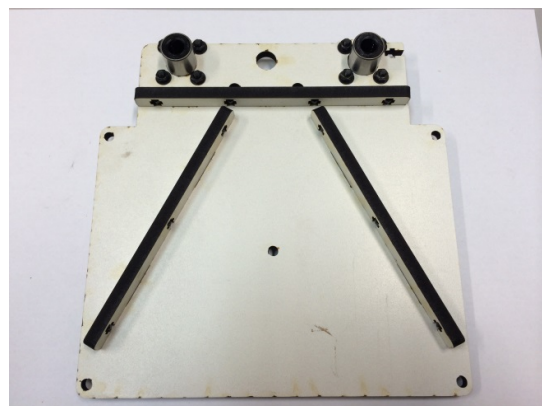
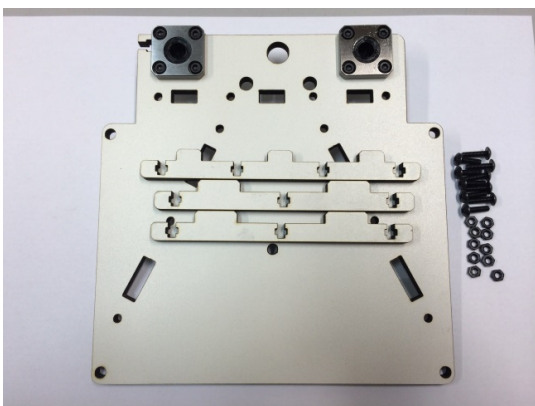
テーブルベースとリニヤブッシュ二個とキャップボルト M3-12 8本
 M3 スプリングワッシャ 8個 M3 平ワッシャ 8個 M3 ナット 8個 を準備
 します。テーブルベースは写真の面が表面です。
 リニヤブッシュは開封直後油まみれですので、ペーパータオルやキムワイプ等
 のパルプくずの出ないもので拭いて下さい。



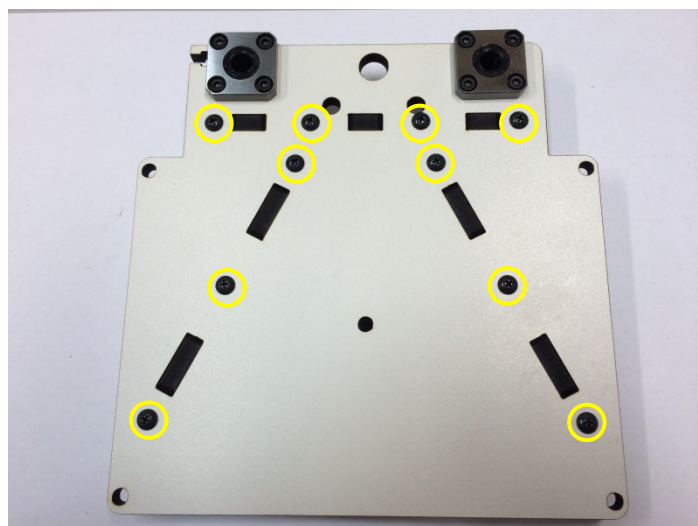
リニヤブッシュ 1 個につき四カ所キャップボルトを通して裏返します。
平ワッシャ スプリングワッシャ ナットの順で取付締め付けます。



このような感じにリニヤブッシュが固定出来ました。



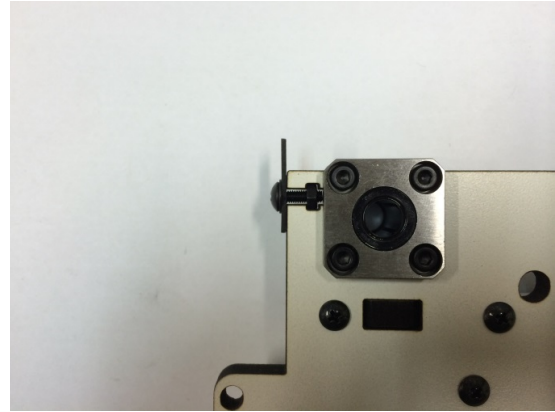
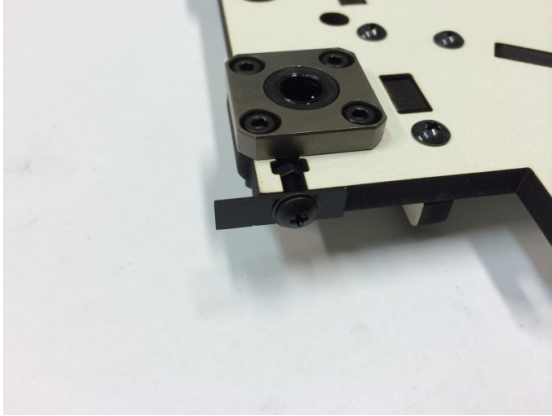
テーブルベースを補強します。
補強板 3 個 M3-12 トラスネジ 10 個 M3 ナット 10 個を準備します。
テーブルベース裏から補強を差し込み、ネジとナットで固定します。



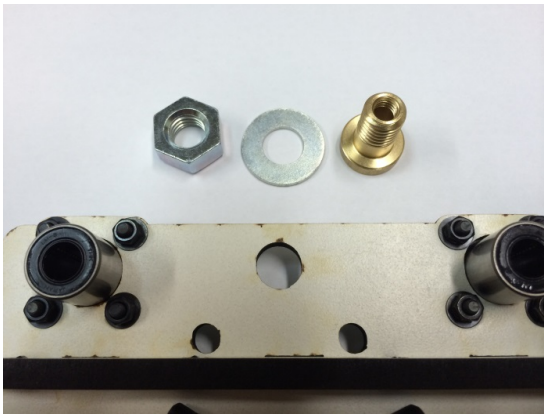
補強で締めたネジは黄色丸の 10 箇所です。



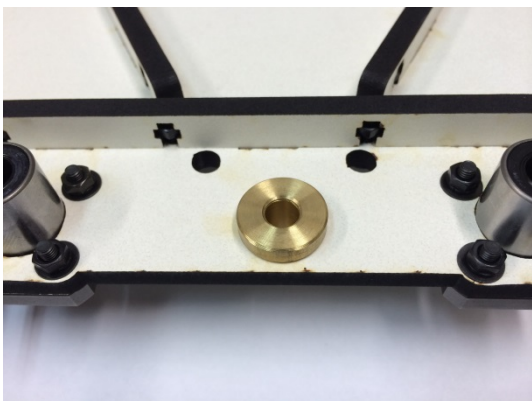
リミットスイッチの袋から
Z 軸ドグ(穴の一つ有る小さな黒い板) M3-10 トラスネジ M3 平ワッシャ
M3 ナットを準備します。
平ワッシャ=>ドグ=>ナットの順にネジにセットして、リニヤブッシュの横にあ
る溝にナットを入れて締め付けます。



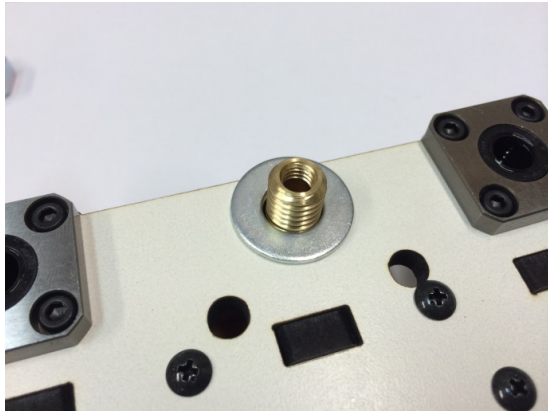
この様にまっすぐ取り付けて下さい。



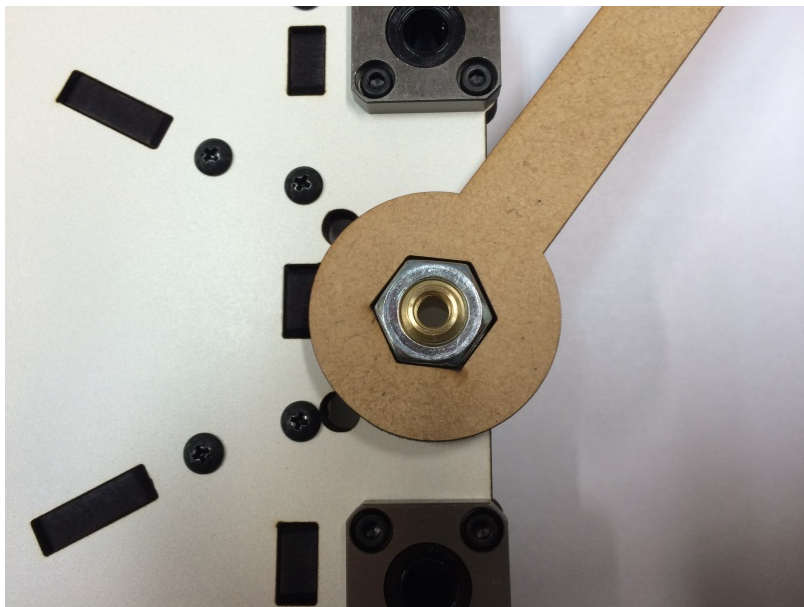
真鍮ナット M10 平ワッシャ M10 ナットを準備します。
写真の様に真鍮ナットにボンドを付けると、緩まなくて良いです。



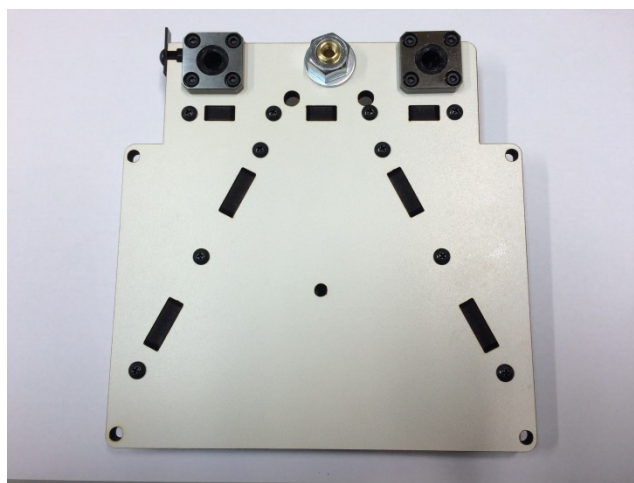
テーブルベース裏側から真鍮ナットを差し込みます。



平ワッシャ ナットの順に取り付けます。手でナットを締めます。



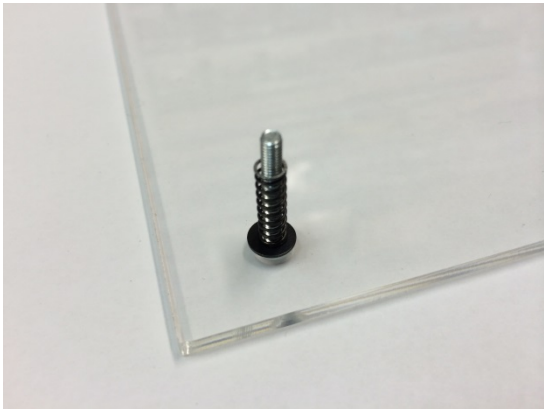
裏から手で真鍮ナットを押えて、付属のめがねレンチで増し締めします。
真鍮ナットが連れ回りする位締まったら OK です。



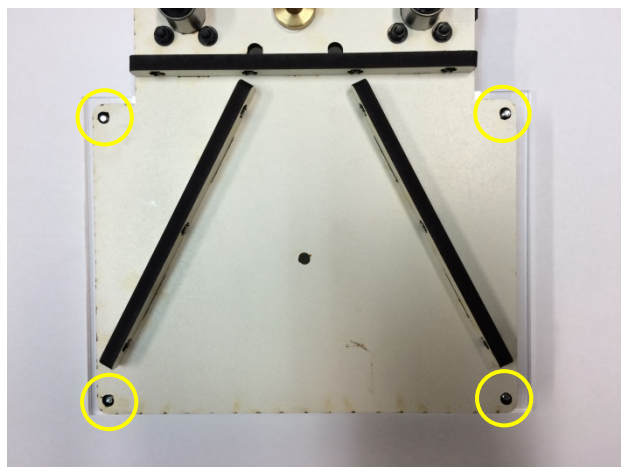
テーブルベースの完成です。



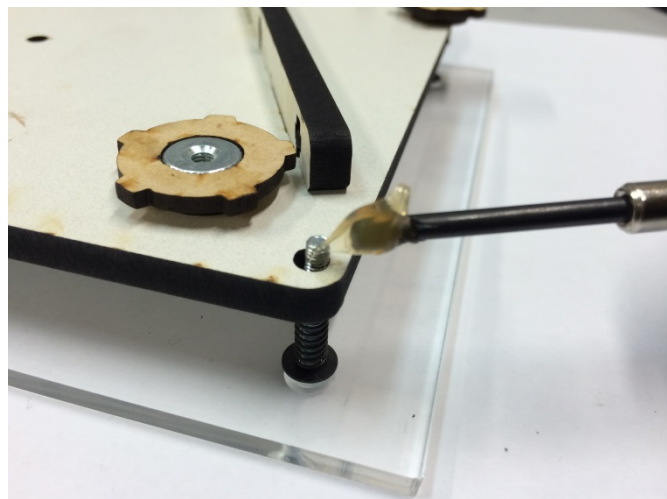
先ほど皿ネジを締めたアクリルのテーブルを図のように置きます。
※アクリルは傷つきやすいので、作業台に紙を敷いて下さい。
ネジに M3 平ワッシャーを通します。



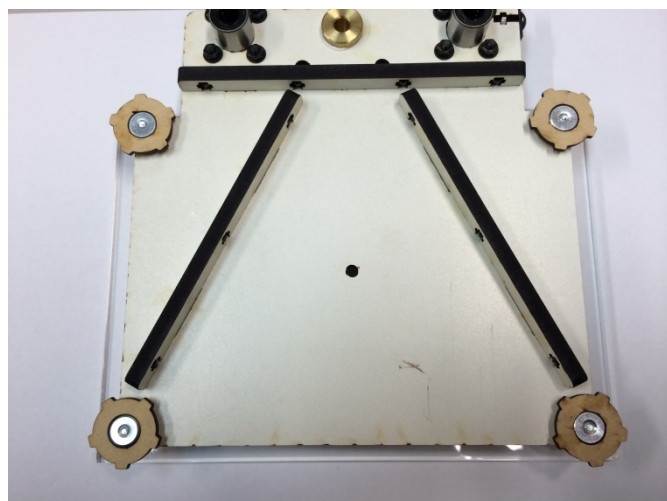
平ワッシャーの上にスプリングを挿します。
スプリングの上に平ワッシャーを置きます。
ネジ 4 本とも同じです。



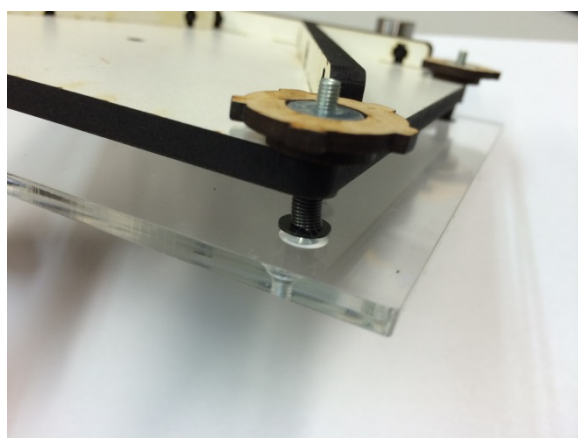
ネジとテーブルベース 4 箇所の穴を合わせて置きます。



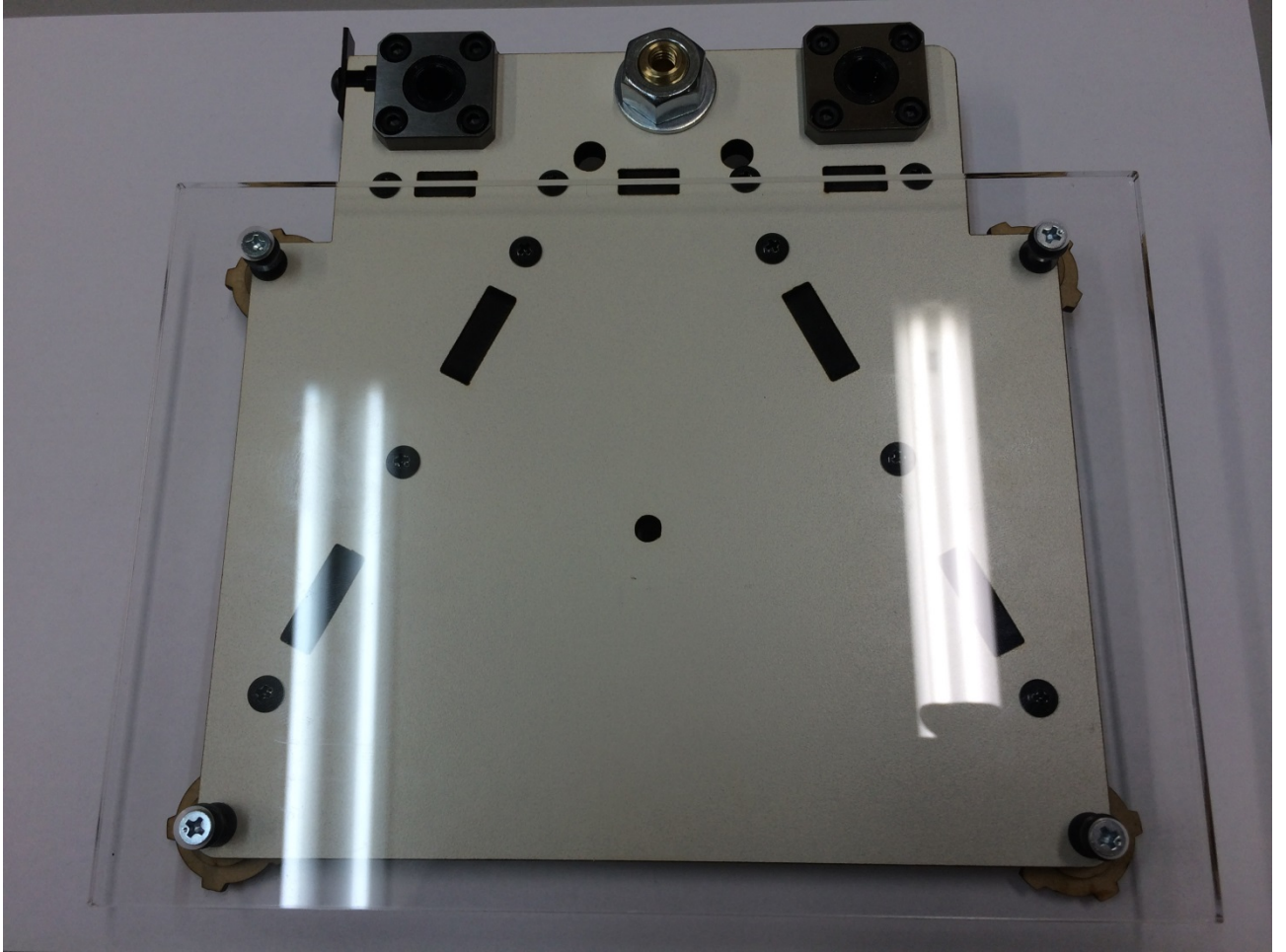
ネジ部にかじり防止の為、付属のグリスを少しだけ塗布します。
楊枝やドライバーを使用して下さい。4箇所ともグリス塗布をして下さい。



ローレットナットを写真のように取り付けます。
バネが効いているので、手で少しベースを押さえながら、ローレットを回して
いきます。



バネが密着する手前までローレットナットを締めおいて下さい。
※微調整は最終段階で行います。



PLA 用のテーブルが完成です。